

だいじょうぶ
つながる
こそだて

だっこ通信

第74号 2026. 9月発行



ことばのキャッチボール

子どもってどんな風に**ことば**を覚え、使うようになっていくのでしょうか。考えてみると不思議です。**ことば**の発達には、**語彙力**だけでなく、「寝る・食べる・遊ぶ」などの**生活リズム**や**人と関わる力**が関係していると言われます。生活リズムが整っていると、心が安定します。親しい人とつながりたいという感情も高まります。〇〇を見つけたよ、楽しいことがあったんだ、嬉しいな、わくわくドキドキしたよ・・・そんな感動を子どもたちは様々な方法で伝えようとします。そういう思いを受け取ってもらえると、表現するのが楽しくなって積極的に**ことば**を使うようになります。それはまさに**ことばのキャッチボール**！

ことばのシャワー
を浴びている時

好きなことを
している時

心が動くような
体験をした時

ことばを覚えやすいのはどんな時？



聞いて 聞いて

話したいことが
あるんだ～

投げるよ～

OK！
受け止めるよ



ことばのキャッチボール



オンブーのつぶやき



ことばのシャワーで気を付けたいのは**タイミングと強さ**。ひたすら浴びせればいいという訳ではなく、相手の反応を見ることが大事なんだ。表情や声の調子からどんな思いなのかを感じ取って、心地よいと感じてもらえるようなシャワーがいいよね。



ことばのキャッチボールのコツ

- ・あくまでもピッチャーは子ども。親はキャッチャー。子どもの**自発的な行動**を尊重し見守っていく。
- ・何に興味があるのかを**観察**する。
- ・言おうとしているのは何かを**拾っていく**感じ。
- ・表現はことばだけに限らない。身振り、手振り、顔の表情、声の調子、態度など様々・・・。
- ・いろいろな表現を親子で楽しむ。

発行者：さくら市生涯学習課（担当 s.suzuki）